

平成26年度 連携・協力事業の実施状況について

教育課題研究専門部会

【プロジェクト名】“進”魅力ある学校づくり推進事業

1 プロジェクトの目的・概要

今年度は、県内の小中学校が、各地域の実情を踏まえた課題解決策等として自ら企画・立案した実効性のある取組を行う事業（以後、「一般事業」という。）に加えて、市町教育委員会が中心となり家庭学習に関する課題について、家庭や地域と連携を図りながら継続的な取組を行う事業（以後、「家庭学習研究事業」という。）を行い、関係者が一体となって積極的に支援することで、教育現場が主体となった魅力ある学校づくりを目指している。また、この成果を広くアピールすることで、他の学校や地域の実情に応じた自律的・主体的な課題解決の取組の推進を促す。なお、一般事業は最終年である。

2 26年度の実施状況**(成果)**

- 事業を実施するにあたり、関係市町教育委員会を訪問し、事業についての意見交換を行うとともに各教育事務所・支所ごとの説明会を開催した。佐賀大学からの支援について説明を行い、各学校担当指導主事の紹介をしたことで、スムーズに事業を開始することができた。
- 教育事務所の担当者を中心に、関係各課の職員が訪問支援を行っている。12月末現在での訪問支援も数は、延べ100回となっている。訪問支援の主な内容は、事業推進のための会議、校内研修会、研究発表会等への参加及び助言、指導案検討に係る助言などである。
- 佐賀大学では、支援要請を受ける窓口を設置し、支援要請内容に応じて文化教育学部のスタッフが訪問支援等を行っている。12月末現在での訪問支援の件数は、延べ18回となっている。

(課題)

- 教育事務所の担当指導主事については、単発的なものではなく、継続的な支援につながるように、事業に対しての学校及び関係各課の高い意識が必要である。
- 佐賀大学への支援については、計画の段階で昨年度からの伸びは見られるが、実際の支援要請につながっていないケースもあり、事務所支援に同行するなどして気軽に支援要請ができる関係づくりが必要である。

3 今後の予定等

- 各学校からの要請に応じ随時、訪問支援及び相談等への助言を行っていく。特に、各学校での取組の総括や校内研究としてのまとめ等に対する支援依頼が予想される。
- 各実施校のホームページ等で取組の成果・課題について、積極的に公開をお願いする。
- 実施校の実践報告及び情報交換を目的とした実践報告会(2/5)を計画している。案内については、県下の学校へ送付を行うとともに、その概要については、ホームページで公開するなど、本事業の成果について県内学校への啓発を図る。